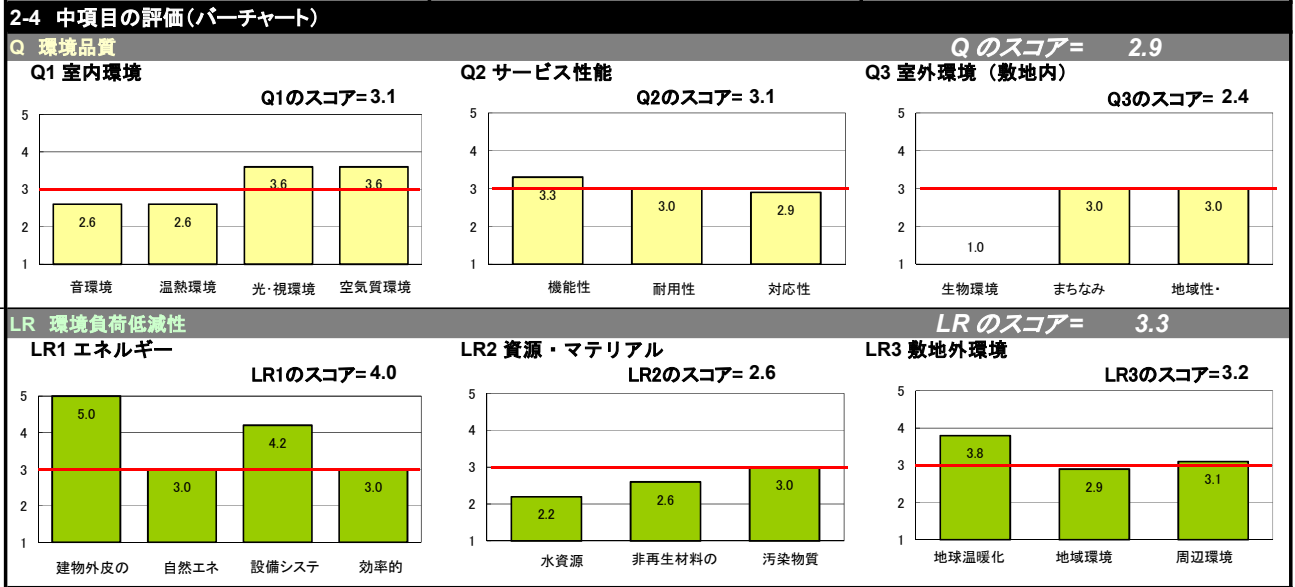
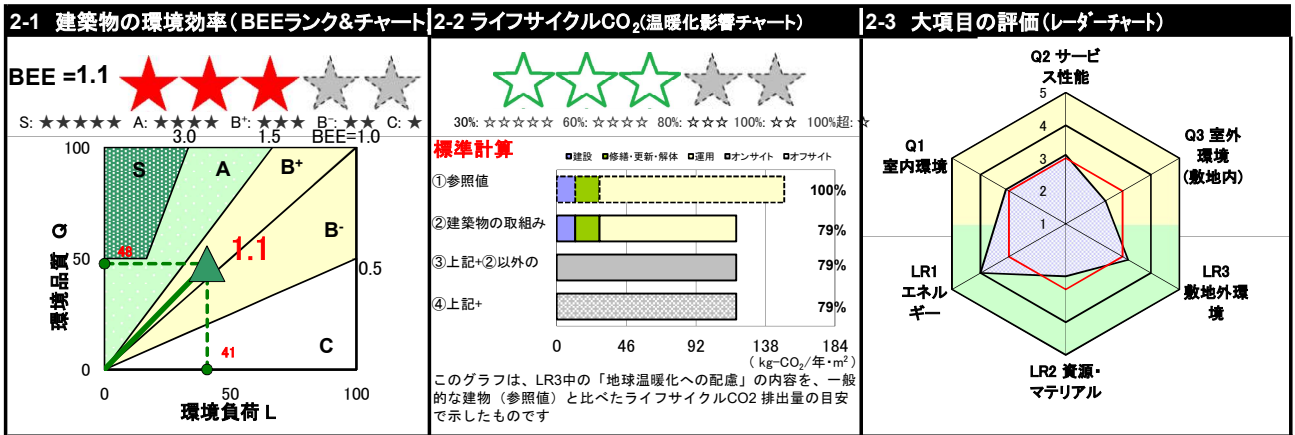


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ふれあい自然塾相模湖未来型ケアハウス新築工事	階数	地上5F
建設地	相模原市緑区与瀬字福原429番1外	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	106 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年2月4日
敷地面積	2,658 m ²	作成者	工藤建設(株)一級建築士事務所
建築面積	1,044 m ²	確認日	2023年2月4日
延床面積	3,634 m ²	確認者	工藤建設(株)一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 商業地域に建つ有料老人ホームとして、建築物の環境品質を高めると同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画した。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 ①共用ラウンジの昼光率=2.5%以上 ②病室の昼光率=1.25%以上 ③庇とカーテンを組み合わせることでグレアを抑制している ④ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用している	Q2 サービス性能 ①個室10m ² 床で、かつ多床室は無し ②耐用年数の長い空調及び給排水配管を採用している ③建物全体及び住室の壁長さ比率=0.3未満	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー ①BPI _m =0.66 ②BEI _m =0.74、LED照明器具を採用	LR2 資源・マテリアル ①躯体と仕上がりが容易に分別可能となっている	LR3 敷地外環境 ①ライフサイクルCO ₂ 排出率=79% ②屋外広告照明は、行っていない

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される